

背景

輸送機器分野の低炭素化実現においては、従来のアルミ材からマグネシウム材への部材転換による軽量化が有効であるが、腐食対策が必須となる。耐食性皮膜を付与する技術開発において、皮膜が不均一になる場合があり、これを究明・解決する必要がある。

【課題】 皮膜の不均一(ムラ)の解決

目的

県内製造業のニーズ

産技セの技術シーズ

- ・ Mgダイカスト技術の蓄積
- ・ 環境に優しい耐食性皮膜



- ・ 難燃性Mgダイカストの知見蓄積
- ・ 環境配慮型耐食性皮膜の高品質化



適用製品の拡大

ホイール 等

特許「マグネシウム合金の表面処理方法」(水のみ使用)

研究内容

鋳造材に対して皮膜を形成する場合皮膜が不均一になる場合がある。

鋳造材の表面状態や内部組織などの因子が、皮膜の形成に及ぼす影響を調査する。調査により得られた知見に基づき、実用部品に処理を実施する。

期待される成果

鋳造材は生産効率が非常に高いため、均一な皮膜を提供できれば、マグネシウム材料・製品の生産拡大につながる。また、開発した表面処理方法は非常に簡便な方法であるため、県内関連事業者への技術移転も容易である。